

# 株式会社 正建設

## 2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年 6月～2024年 5月)



認証番号0010465

発行日：2024年8月30日

## 目次

株式会社 正建設

- I. 環境経営方針
- II. 組織の概要
- III. 認証・登録の対象範囲  
及び役割・責任・権限表
- IV. エコアクション21環境管理システム実施体制図
- V. 主な環境負荷の実績
- VI. 環境経営目標及びその実績
- VII. 環境経営計画の取り組み計画と評価、次年度の取り組み内容
- VIII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果
- IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

# 株式会社 正建設

## I. 環境経営方針

当社は、土木工事業を主とする事業分野において、地球環境の保全のために、下記の取組みにより、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。又、環境経営の継続的改善に努めます。

- 1 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 二酸化炭素排出量の削減を推進します（電気、ガソリン、軽油）
- 3 事務所での廃棄物の削減を推進します。
- 4 建設現場等での建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
- 5 水道使用量の削減を推進します。
- 6 環境に配慮した施工技術の開発と顧客への提案を推進します。
- 7 地域美化活動への参加を積極的に行います。
- 8 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2014年 7月 1日

改定日：2019年 5月 31日

代表取締役社長 **坂本 竜浩**

## II. 組織の概要

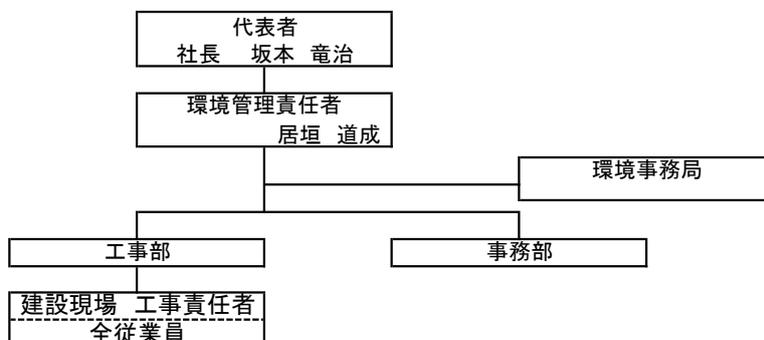
- (1) 名称及び代表者名  
株式会社 正建設  
代表取締役社長 坂本 竜治
- (2) 所在地  
本 社 〒671-1524 兵庫県揖保郡太子町東保 3 1 2 番地の 5  
たつの営業所 〒679-4121 兵庫県たつの市龍野町島田 7 0 9 - 1
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先  
責任者・担当者 居垣 道成 **TEL:079-276-5616**  
**TEL:080-8330-5471**  
E-Mail : syokensetsu@y2.dion.ne.jp
- (4) 事業内容  
土木工事業、建築工事業、石工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業  
塗装工事業、しゅんせつ工事業、鋼構造物工事業、水道施設工事業  
許可番号 兵庫県知事 許可(特-3)  
第 503177号 許可年月日 令和3年10月25日  
許可期限 令和8年10月24日
- (5) 事業の規模  
売上高 3.3 億円 (2023年度実績)
- 事業所の規模 (本社)、(たつの営業所)
- |       | 事務所                | 資材倉庫                 | 資材置場                 |
|-------|--------------------|----------------------|----------------------|
| 従業員   | 9名                 | 無人                   | 無人                   |
| 延べ床面積 | 8 0 m <sup>2</sup> | 1 9 8 m <sup>2</sup> | 5 6 1 m <sup>2</sup> |
- 所有建設機械  
バックホウ 0.4 5 m<sup>3</sup> (2台) バックホウ 0.2 5 m<sup>3</sup> (2台)  
バックホウ 0.1 m<sup>3</sup> (2台) 3 t ローラー フォークリフト  
発電機 コンプレッサー  
産業廃棄物収集運搬車-4 t ダンプトラック (第1 5 2 5 6 7号)
- (6) 事業年度 6月～翌年5月

## III. 認証・登録の対象範囲

登録組織名 : 株式会社 正建設  
対象事業所 : 本社  
たつの営業所

活動 : 土木工事業、建築工事業、石工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業  
塗装工事業、しゅんせつ工事業、鋼構造物工事業、水道施設工事業

Ⅲ. エコアクション21環境管理システム実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> <li>経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理、</li> <li>環境関連法規制等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括</li> <li>環境経営活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境経営活動の実績集計</li> <li>環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施</li> <li>特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む）</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
事務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務部における環境経営システムの実施</li> <li>関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の運用管理</li> <li>問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
工事責任者 (工事代理人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設現場における環境経営システムの実施</li> <li>工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施</li> <li>建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>緊急事態対応訓練の実施、記録の作成</li> <li>建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## V. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	159,888	137,186	104,013	120,514	217,653
電力	kWh	9,323	6,899	7,055	7,791	7,609
ガソリン	L	9,282	10,998	10,653	9,189	12,273
軽油	L	49,194	40,200	27,986	28,833	70,016
灯油	L	1,303	1,047	1,374	856	1,067
廃棄物排出量	トン					
一般廃棄物	kg	286	140	136	110.5	109.8
産業廃棄物	トン	576	1,074	685	1,118	1,506
水使用量	m <sup>3</sup>	54	49	65	90	59.5

注) 化学物質の使用はなし

## VI. 環境経営目標及びその実績

### (1) 中期目標

項目		年度	2017年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> 対基準		159,888	158,289	157,490	156,690	155,891	155,891
				△1%	△1.5%	△2%	△2.5%	△2.5%
電力使用量削減	kWh		9,323	9,230	9,183	9,137	9,090	9,090
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準		4,428	4,384	4,362	4,340	4,318	4,318
				△1%	△1.5%	△2%	△2.5%	△2.5%
ガソリン 使用量削減	L		9,282	9,189	9,143	9,096	9,050	9,050
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準		21,550	21,334	21,226	21,119	21,011	21,011
				△1%	△1.5%	△2%	△2.5%	△2.5%
灯油 使用量削減	L		1,303	1,290	1,283	1,277	1,270	1,270
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準		3,247	3,215	3,198	3,182	3,166	3,166
				△1%	△1.5%	△2%	△2.5%	△2.5%
軽油 使用量削減	L		49,194	48,702	48,456	48,210	47,964	47,964
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準		129,102	127,811	127,165	126,520	125,874	125,874
				△1%	△1.5%	△2%	△2.5%	△2.5%
II. 廃棄物排出量 削減								
一般廃棄物 削減	kg 対基準		286	283	282	280	279	279
				△1%	△1.5%	△2%	△2.5%	△2.5%
産業廃棄物 削減	トン 対基準		576	570	567	564	562	562
				△1%	△1.5%	△2%	△2.5%	△2.5%
III. 再生資源の利用 リサイクル率の向上	% 対基準		100	100	100	100	100	100
IV. 水使用量 削減	m <sup>3</sup> 対基準		54	53.5	53.2	52.9	52.7	52.7
				△1%	△1.5%	△2%	△2.5%	△2.5%
V. 環境配慮工法 の開発と提案	件 対基準		3	5件	6件	7件	8件	8件
				+ 2	+ 3	+ 4	+ 5	+ 5

(2) 2023年度の実績 (2023年6月～2024年5月)

項目	年度	2017年度	2023年度における実績			
		基準値	(2023年6月～2024年5月)			
			目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	159,888	155,891	217,653	72%	×
			△2.5%	36.1%		
電力 使用量削減	kWh kg-CO <sub>2</sub> 対基準	9,323	9,090	7,609	119%	○
		4,428	4,318	2,754		
			△2.5%	△19.0%		
ガソリン 使用量削減	L kg-CO <sub>2</sub> 対基準	9,282	9,050	12,273	74%	×
		21,550	21,011	28,494		
			△2.5%	32.2%		
灯油 使用量削減	L kg-CO <sub>2</sub> 対基準	1,303	1,270	1,067	119%	○
		3,247	3,166	2,659		
			△2.5%	△19.0%		
軽油 使用量削減	L kg-CO <sub>2</sub> 対基準	49,194	47,964	70,016	69%	×
		129,102	125,874	183,746		
			△2.5%	42.3%		
II. 廃棄物排出量 削減	対基準					
一般廃棄物 削減	Kg 対基準	286	279	109.8	254%	○
			△2.5%	△160.4%		
産業廃棄物 削減	トン 対基準	576	562	1,506	37%	×
			△2.5%	261.0%		
III. 再生資源の利用 リサイクル率の向上	% 対基準	100	100	100	100%	○
IV. 水使用量削減	m <sup>3</sup> 対基準	54	52.7	59.5	88%	△
			△2.5%	10.1%		
V. 環境配慮工法 の開発と提案	件 対基準	3	8	9	100%	○
			+5件			

注1) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（100%未満～80%）、×：未達成（80%未満）

注2) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、2020年の関西電力公表の

0.362kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用。

取り組み計画		達成状況	評価結果と次年度の取組内容
<b>二酸化炭素の排出量の削減</b>		△	<b>(目標未達成)</b>
下記による。		下記による	下記による。
<b>電力使用量の削減</b>			<b>(目標達成)</b>
事務所	・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	◎	エコモードのある機器の設定も確認を行いました。  次年度も左記活動を継続する。
	・OA機器の省エネモード設定	◎	
	・不要照明の消灯	◎	
	・設備の空転禁止	◎	
<b>ガソリン使用量の削減</b>			<b>(目標未達成)</b>
建設現場	・アイドリングストップ	△	発電機等、現場ごとに使用状況が多く目標未達成。 乗り合わせなども積極的にするようにしていきたい。 次年度も左記活動を継続する。
	・急加速・急停車の抑制	○	
	・移動コースの効率化	○	
<b>軽油使用量の削減</b>			<b>(目標未達成)</b>
建設現場	・重機の空ふかしの禁止	△	使用機械の台数により、目標数字より多くなった。 使用機械は全て環境配慮機械を使用していました。 次年度も左記活動を継続する。
	・アイドリングストップ	○	
	・空気圧、オイル等の点検	○	
<b>灯油使用量の削減</b>			<b>(目標達成)</b>
事務所	・灯油ストーブの節減	◎	灯油ストーブ等、しっかり節約が出来たと思います。  次年度も左記活動を継続する。
<b>一般廃棄物の削減</b>			<b>(目標達成)</b>
事務所	・ペーパーレスに努める	◎	分別等、しっかり取り組めたと思います。 書類作成時のミスプリントを減らしていきたい。 次年度も左記活動を継続する。
	・分別の徹底	◎	
<b>産業廃棄物の削減</b>			<b>(目標未達成)</b>
建設現場	・分別ルール の策定	○	現場状況の都合もありました、本年度は目標未達成 となりました。 次年度も左記活動を継続する。
	・分別によるリサイクル推進	○	
	・保管場所の掲示板を設置	△	
<b>再生資源の推進・利用</b>			<b>(目標達成)</b>
建設現場	・分別によるリサイクル推進	○	100%でのリサイクル化運用ができました。  次年度も左記活動を継続する。
	・仮設資材の再利用の推進	◎	
<b>水使用量の削減</b>			<b>(目標未達成)</b>
事務所	・節水の周知徹底	△	通年を通して、節水に努める。 次年度も左記活動を継続する。
	・清掃時・手洗い時の節水	△	
	・洗車時の節水	○	
<b>環境配慮工法の推進</b>			<b>(目標達成)</b>
事務所	・環境に配慮した工法の調査	○	騒音対策等を行いました。NETIS登録商品を使用 した。ICT工法により工事を実施した 次年度も左記活動を継続する。
	・発注者への施工提案	◎	

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

## Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規定	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
消防法	消火器設置（消火器の点検・記録）	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調冷凍機器の廃棄時のフロン類の回収、定期点検と記録の保管	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者（家電量販店）への引渡し	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、遵守されていることを確認しました。

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

## Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年8月30日

代表取締役 坂本竜治

### 1.総括

二酸化炭素の排出量の削減、軽油、産業廃棄物、水使用量という部分では残念ながら未達成となりましたが、現場の数、内容によって二酸化炭素の排出量の削減、軽油、産業廃棄物の量が異なることで大きく変わります。その他の項目では非常に良い結果が出ているので、しっかり維持できるように指導、管理を行いたい。  
定着しつつも、習慣まではまだまだの部分も多数あるので、これからの活動の中で根付かせるように注意して見ていき、声をかけていけたらと思います。

### 2.見直し結果

項目	見直し結果	備考
環境経営方針	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し	
経営目標及び計画	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し	
実施体制	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し	